

令和 5 年 3 月 3 日

保護者 様

三木市立吉川小学校
校長 長谷川 珠里

吉川小学校 新たなスタートを迎えて (41)

早春の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力をいただき深く感謝いたします。

2月28日に吉川町まちづくり協議会の全体研修会があり、本校からはPTA副会長が出席されていきました。発表者は私以外に、吉川中学校と吉川高校の学校長でした。吉川町全体で子ども達を育てていこうという研修会となりました。

引き続き、東吉川小学校と吉川小学校の統合初年度ですので、学校での様子や保護者をお願いしたい事等をお伝えする方法として、本文書をお渡ししています。お読みいただく時間を作ってください、ご確認をお願いします。

なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。必要に応じてご利用ください。

☆学校HP（ホームページ）アドレス <http://www.miki.ed.jp/el/yokawa/>

☆検索窓に「吉川小学校」を入力して検索ください。

1 吉川小学校 ギャラリーについて

三木市にお住いの岡田勝博さんに、ご自身の作品である絵画を寄贈いただきました。コモンホールの2階に展示していますので、来校いただいた際にご覧ください。



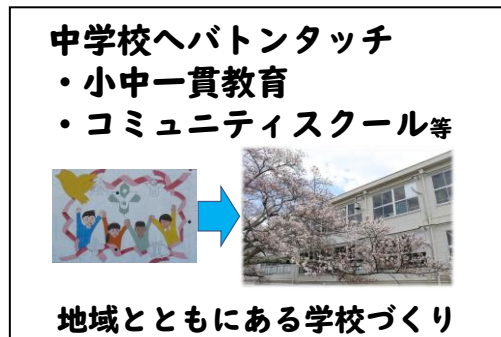
今後はスマイル学級等の指導者として、子ども達に絵を教えていただく計画をたてています。

2 吉川町まちづくり協議会全体研修会

2月28日（火）に山田錦の館で、吉川町まちづくり協議会の全体研修会が開催されました。私は「地域とともにある学校づくり」と題して、本校の様子や地域の皆さんにお力添えをいただいている種々の活動について、その意図等をお話ししました。



加えて、スマイル学級（放課後等教育事業）のボランティア募集や子ども達と一緒に育てていただきたい旨をお伝えしました。区長便にて全戸配付を依頼していますので、皆様のお手元にも「スマイル学級 ボランティア募集」（青色の紙）の案内は届くと思います。



吉川中学校長からは、「吉川中学校の状況と取組」と題して、中学校での取組や小中一貫教育、次年度から吉川町で実施していくコミュニティスクールについて、全体像や取組のねらいについて発表がありました。また、現在、話題となっている部活動の地域移行についても現在の取組、今後の予定についてお話がありました。取組の一つ

として、小学校5年・6年生とその保護者を対象とした部活動アンケートが三木市の全小学校で行われています。

吉川高校長からは吉川町在住高校生の「ふるさと意識」について、50人の高校生（三木高校、三木東高校、三木北高校、吉川高校、社高校に在籍）から回答があったアンケート結果をもとに提言がありました。

本校の子ども達がこれから育っていく吉川町がどんな町^{まち}になっていくか、どんな町^{まち}づくりを進めていくか、まちづくり協議会の皆さんとともに有意義な時間を過ごすことができました。「誰かがしてくれる。」「〇〇をしてほしい。」だけでなく、「一緒にしていこう。」や自分にもできる事を考えていこうという心構えが大切だと感じました。

3 避難訓練（登校時対応）実施について

- (1) 日時 令和5年3月10日（金）7時50分～8時00分
- (2) 場所 バス運行ルート上及び、徒歩通学路上
- (3) 想定 大規模地震発生、退避行動が必要時
※通学バスは安全地帯に一旦停止、「すぐる」にて安全状況返信もしくは緊急事態連絡。安全確認後、登校運行開始。
- (4) 参加者 本校児童、教職員、市教委、バス会社（ドライバー含む）、人の目の垣根隊、協力いただける保護者等
- (5) 内容
- ・ 学校とドライバー及びバス会社との緊急体制（すぐるを活用した緊急連絡体制）の確立訓練
 - ・ 児童の避難行動確認（徒歩通学）
 - ・ 地区児童会にて緊急時の対応について地区担当から再確認
- (6) 事前指導 前日の下校指導時に各地区担当が指導する。吉川町まちづくり協議会全体研修会
- (7) 事前指導 前日の下校指導時に各地区担当が指導する。

◆大規模災害時において避難行動（バス通学）

- ① 普段から運転手さんの指示が聞けるように、乗車マナーを身につけるよう心掛ける。
- ② 緊急時は、運転手さんの指示に従って、落ち着いて行動する。

※静かに話を聞く。

※バスを下車する場合は、班長がまず降りて、安全な場所に班員を集め点呼する。

※運転手さんに全員確認を報告する。

※指示に従って乗車する。（人数を確認しながら乗車し、改めて人数を運転手さんに報告する）

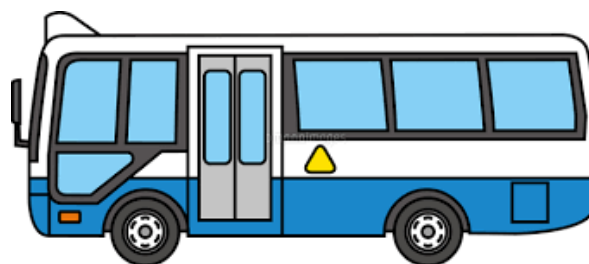
◆大規模災害時において避難行動（徒歩通学）

- ① 普段から、安全な避難場所について確認しておく。

※高い塀、看板、植木等倒れてくるものがない広めの場所について確認しておく。

- ② 揺れを感じている間の避難行動について確認する。

※広めの安全な場所で、頭を低くして揺れが収まるのを待つ。揺れが収まったら、安全を確認しながら、学校または集合場所どちらか近い方へ移動して先生や保護者の指示に従う。（大人が来るまで待つ事を基本とする）



(8) 避難訓練手順 (バス)

7 : 5 0



<学校>から<運転手・バス会社・市教委>

「避難訓練」「ただ今大規模地震が発生しました。運転手の皆さん、バスを一旦安全な場所に停車し、安全が確認できるまで待機してください。」

※職員は、ドライバーからの電話連絡等に備え、Teams内の登下校情報管理ファイルを開く (情報管理の一元化)



<学校>から<保護者等>

「保護者の皆様、登校時の緊急連絡訓練を実施しております。緊急時道路状況等周辺の情報を学校までお知らせいただく場合があります。ご協力よろしくお願いいたします。今回は、確認ボタンを押して既読確認をし、学校メール (yokawael@ns.miki.ed.jp) へ状況をお知らせください。電話はドライバーとの連絡を優先します。

例1 ○○バス停付近に待機しています。

例2 ○○バス停付近には大きな被害はありません。」状況を想定して送信してください。



<学校>から<運転手・バス会社・市教委等>

「安全確認連絡訓練」「運転手の皆さん、今のところ大きな道路状況の問題が報告されていません。安全を確認しながら、学校まで向かってください。」

※ バスに乗車していない場合はそのままバス停で待機してください。可能であれば、上記のように学校メールで状況をお知らせください。

(9) 避難訓練 (徒歩)・・・校内放送で地震発生訓練を知らせ、体育館に集合させ、登校途中に地震が起こった場合の訓練について考えさせる時間を取る。

(10) 人の目の垣根隊にも可能な限り参加いただきたいと思います。バス通学徒歩通学ともに、通常、子ども達の見守りをしていただいている方がおられましたら、学校までその旨お知らせください。本訓練についての協力依頼を行います。徒歩通学1班・2班は把握できていますので、お知らせは不要です。それ以外の方がおられましたら、連絡帳でバス停等とお名前をお伝えください。よろしくお願いいたします。

